



# 規範パワーEUの行方

## 危機の真っ只中でEUのアイデンティティについて考える

EUは国家間の戦争を放棄し、ノーベル平和賞も受賞しました。しかし、他方で域内では巨大な格差をもたらし、民主シーを損なう失敗プロジェクトだともみられています。EUがヨーロッパ統合の名のもとに実現しようとしてきたことは、根本的に間違いであったのでしょうか。別の見方も可能なのでしょうか。かつて一世を風靡した『規範パワー論』を参考に、危機にあってなお規範のパワーたろうとするEU諸国の集合的政治意思の持続性について考えてみます。

■日 時: **5月27**日(土) 15:10~16:40

■場 所: 関西学院大学図書館ホール

■講 師: **臼井 陽一郎**氏  
(新潟国際情報大学国際学部教授)

■参加費: 無料(一般参加可、申し込み手続き不要)



### <講師プロフィール>

1965年生まれ。早稲田大学社会科学部卒業、同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学、英国・リーズ大学大学院法学研究科論文修士課程修了。  
現在、新潟国際情報大学国際学部教授。EU政治専攻。